

改修例 その2 ~シニアプラン~



セカンドライフを楽しむ家

つぎは、子どもたちが巣立った後の人生を楽しむ方を想定したプランです。

セカンドライフを楽しむ元気なシニアの方へのご提案。
 まだまだ元気に生活できることを重視しながら、要介護となったときのことも視野にいたれたプランです。
 なるべく費用をおさえるため、1階のみの改修とし、2階は既存のまま個室として利用する計画としました。
 土間を広くとり、元気な間はご近所や趣味の仲間と交流できるスペースとしました。
 また将来的に介護の送迎車が入ることもできるよう入り口の建具の高さを調整します。



※参考 このプランの改修工事費用は？

※基礎・断熱などをプラスする場合はP6を参考にしてください。
 ※既存品の利用や条件によって金額はかわってきます。

・1階内装工事(床・壁・電気など)	2,000,000
・玄関建具の入れ替え	900,000

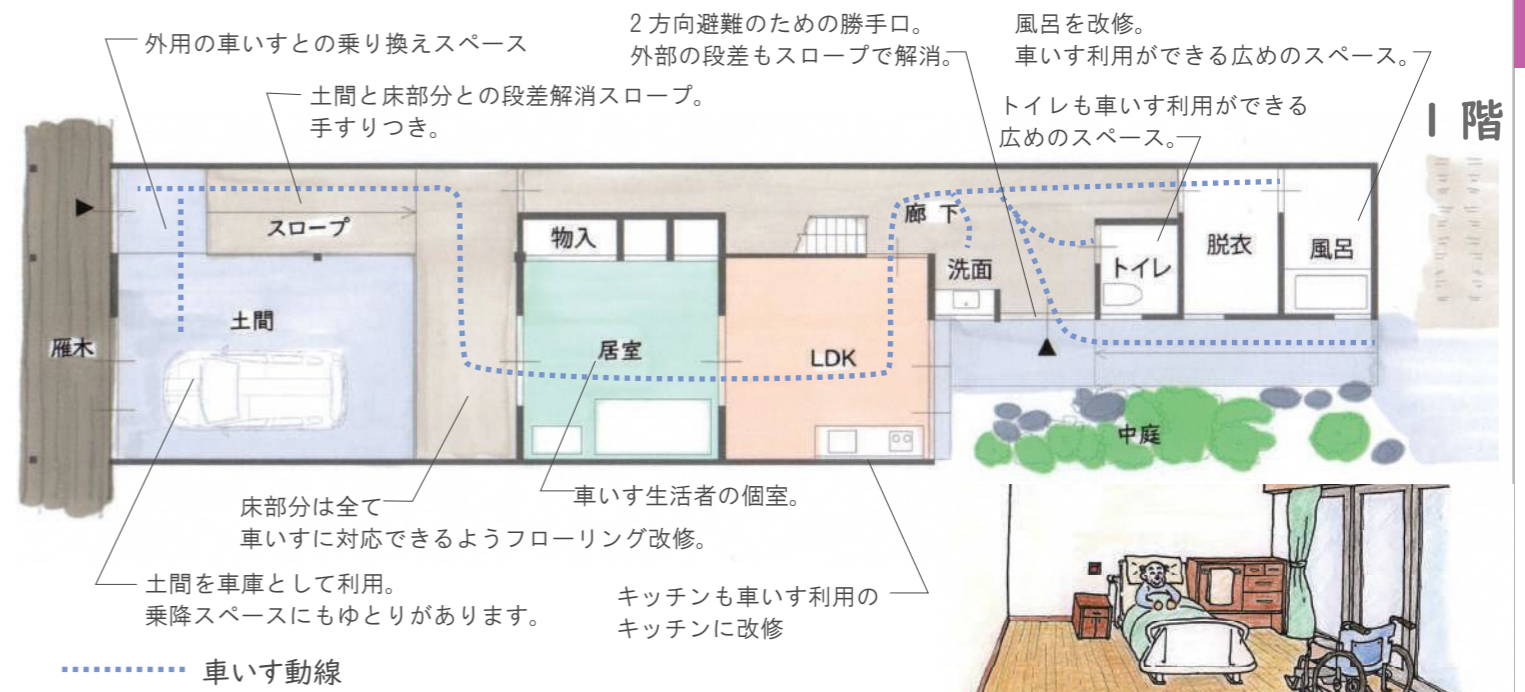
改修例 その3 ~車いすプラン~



車いすでも活動的に暮らせる家

車いすで自立して生活できるプランです。

車いす生活の方が自立して生活できるための住居のご提案です。
 このプランも1階は車いすの方の生活が完結できるよう改修してありますが、2階は既存のままとして、同居人の方の個室として利用できます。
 土間はその2と同様、車が駐車できるよう改修し、車いすでの乗り降りも可能なスペースを確保します。



※参考 このプランの改修工事費用は？

※基礎・断熱などをプラスする場合はP6を参考にしてください。
 ※既存品の利用や条件によって金額はかわってきます。

・1階内装工事(床・壁・建具など)	4,500,000
・キッチン・風呂・トイレ(配管含む)	2,500,000

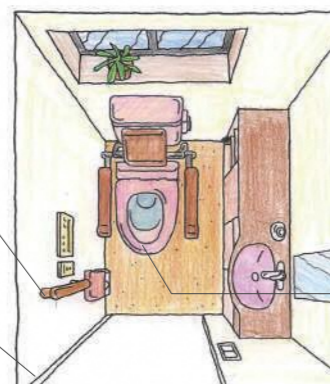
水回りの改修ポイント

小型の暖房器具などで他の部屋との温度差がつきにくい工夫を!

トイレ

手すりを設置

出入り口の建具は引き戸がおすすめです



身体が健常でなくなってきたときに水回りの改修ポイントを挙げます。

可能であれば介助を想定した広めのスペースに改修しましょう。

トイレは1か所のみなら腰掛式の暖房便座がおすすめです。

最も不便となるのが水回りです。

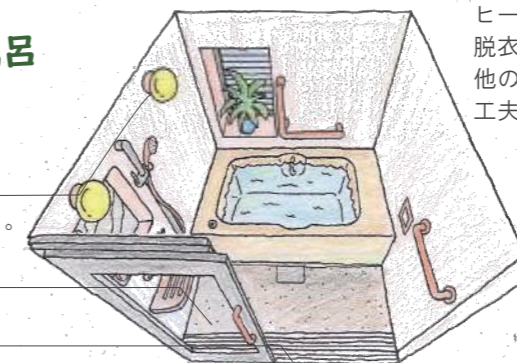
お風呂

介助を想定する場合、1坪よりも広めのスペースが必要です。

けが防止のため明るい照明器具をつけましょう。

床はすべりにくい素材のものを。

段差はなくします。



ヒートショック防止のため、脱衣室を含め、他の部屋との温度差がつきにくい工夫をしましょう。

- 浴室の出入り口
 - 浴槽への出入り用
 - 洗い場での立上り用
 - 浴室内部での移動用
- などの位置に手すりをつけましょう。

